

東亞の抗英史

支那・抗英百年の果

△ニユウス・ストーリー△

(四)

勿論、一九〇〇年(明治三十一年)の義和團事件から今日までの過去二十年にわたって、特に九年の開ラン炭鉄のストライキ語つてゐるのである。この點は、翌年香港を中心として起つた海員ストライキの如く、或ひその飛び火であるところの同年六月二十三日における廣東市沙基大街の虐殺事件などの如く、特にイギリスを目標として起された民衆の抗争はないこともないが、それは闘争の如く、反帝運動の過程において、何時しか、も怒濤の如く起つてゐる。些細な点と廣汎な排外的行動の如きが、反帝運動でいつに起つて、支那を食いつて轉化して行くのが普通で、イギリスの支配力だけを目標とする自分の行跡を顧みれば、イギリスとしても、因果應報、當然なことは近代支那社會の根本的な特徴の如いと觀念すべきであらう。

六月二十三日における廣東市沙

海員ストライキの如く、或ひ

その飛び火であるところの同年

六年五月三十日に上海で勃

發したいはゆる五・三〇事件

その飛び火であるところの同年

六年五月三十日に上海で勃

